



笑顔あふれる 2日間 「子ども霞が関見学デー」

平成12年度から毎年実施されている「子ども霞が関見学デー」、農林水産省をはじめ各府省庁が連携して、それぞれの仕事の説明や職場見学、様々なプログラム体験を通じて、親子のふれあいを深め、子どもたちに広く社会を知ってもらうこの取組が、今年も7月29～30日に開催されました。



開催期間中農林水産省には親子連れを中心とした約4,700名の皆さんが来訪し、このうち林野庁のコーナー「大好きな人へ木のハガキをおくろう」には約200名の子どもたちが参加しました。

このコーナーでは子どもたちがスギ、ヒノキ、トドマツ、ヒバ、マカバの5種類の木製ハガキから、好きなハガキを1枚選び、職員手作りの消しゴムハンコやクレヨンを使って思い思いの絵を描き、両親や先生へ宛てての感謝の思いや、おじいちゃん、おばあちゃんへの暑中お見舞いの言葉を綴っていました。

また、神奈川県小田原郵便局と木材業組合の方々にもご協力頂き、持参していただいた小田原の木材で作成された全国で3つしかない木製ポストの前は、自分で描いたハガキを大切に投函する子どもたちで大賑わいでした。

他にも小田原産間伐材の小片で犬のキャラクター「きいちろう」を作成するなど、子どもにも大人にも、木のあたたかさや香りを感じる時間を楽しんでいただき、2日間にわたる子ども霞が関見学デーは盛況のうちに終わりました。

